

児童・生徒の作品コーナー



東陽小学校児童の紹介



88

我が家の家庭教育

古屋 邊見陽子

我が家の家族構成は主人と娘2人の4人家族です。

教育とかしつけなど子供の小さい時は自分の思い通りの人格に育てようとする気持ちが強すぎて、理想と現実のギャップに悩みながら厳しく子供を叱りつけました。

現在は子供たちも中1と19歳です。でもつばら放任主義の方です。夫婦といえども2つの異なった個体の集まりです。考えが一致する方が不思議な位で、親子関係においても親が子供たちに押しつけ教育をしてもよい結果にはならない

と思います。まとめ

我が家の子育て論

り対話をする時間の

人間を批判することはできませんが、わが家の子供たちが求めているのは完璧な母親ではなく、どこかぬけた所がある親を感じさせる母親だそう。時には家事をさぼることもあれば、子供や主人と一緒にダジャレを言い合

ったりもします。そういう非はじめさを持ち合わせている母親です。子育ての基本はささいなことでも、子供たちと感情を共有することだと思います。つまり心の余裕ですね。仕事に追われ子供たちとあま

ない主人ですけど日曜日の夜だけは、にぎやかになります。主人と娘たちの時間になってしまいます。食事のマナーや言葉づかい、能力の差など、気になる所はたくさんあります。良いにつけ悪いにつけ人の姿は皆自分を映す鏡だと思

※学校たんけん、用務の仕事をしてる草葉さんに会いました。草葉さんの好きなものも描きました。



1年1組 小川哲弘くん



『草葉さん』

※サボテン山とトンガリ山と富士山を描きました。カバさんがじょうずににじを渡っていきます。



2年2組 市原 茜さん



『にじのはし』



『我が家は友だちかんかくの家族です』と邊見さん

って、善を見たら自分もそれを手本として悪を見たら自分にも同じ様なことがないか反省をする心、人の欠点を非難するよりも自分もふり返るこ

あるからこそ、我が家は友だちかんかくの家族です。娘たちに一言 自分自身を正し毎日の生活をする上で心をつつしみ、行

とが大切ではないでしょうか。年頃になった娘たちとも対等に話し合いができる様になり、私が仕事できるのも、主人や子供たちの協力や理解が

平らな道を歩いていってほしいと願っています。心の健康、愛ある家庭、愛ある家族こそ人生の基盤だと思います。

いを規律正しくすること。つつしみも規律もなかったら人としての正しい心は失われ、行いも乱れて人間関係の上でも人の道からはずれることになってしまいます。まちがいのない